

(6) 平成30年度予算及び決算

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3,091	3,167	76	(注1)
うち補正予算による追加	—	—	—	
施設整備費補助金	41	41	△0	
うち補正予算による追加	—	—	—	
船舶建造費補助金	—	—	—	
施設整備資金貸付金償還時補助金	—	—	—	
補助金等収入	—	0	0	
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	28	23	△5	(注2)
自己収入	902	893	△9	
授業料、入学金及び検定料収入	797	784	△13	(注3)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	105	109	4	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	108	134	26	(注5)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
前中期目標期間繰越積立金取崩	33	27	△6	(注6)
目的積立金取崩	39	34	△5	(注7)
計	4,242	4,320	78	
支出				
業務費	4,065	3,997	△68	
教育研究経費	4,065	3,997	△68	(注8)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	69	64	△5	(注9)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	—	0	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	108	96	△12	(注10)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	4,242	4,157	△85	
収入-支出	—	162	162	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、特殊要因運営費交付金が追加交付されたこと等により予算額に比して決算額が76百万円多額となっています。
- (注2) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、交付決定額の減少により予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。
- (注3) 授業料、入学金及び検定料収入については、当初の見込みより大学院学生の入学者が減少したこと等により予算額に比して決算額が13百万円少額となっています。
- (注4) 雑収入については、講習料等収入の増加、研究関連収入の減少等により予算額に比して決算額が4百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、当初の見込みよりも受託研究収入及び寄付金収入が増加したことから予算額に比して決算額が26百万円多額となっています。また、決算額には、前年度からの繰越額17百万円が含まれています。
- (注6) 前中期目標期間繰越積立金取崩については、アクティブ・ラーニング環境整備に使用した取崩額が27百万円となったため、予算額に比して決算額が6百万円少額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、教育研究環境整備に使用した取崩額が34百万円となったため、予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、(注6)及び(注7)に示した理由並びに退職手当の繰越等により、予算額に比して決算額が68百万円少額となっています。
- (注9) (注2)に示した理由により予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。
- (注10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、当初の見込みより寄附金事業費が減少したこと及び受託研究費が増加したことから予算額に比して決算額が12百万円少額となっています。